

平成 21年 4月 28日現在

研究種目：基盤研究 (C)
 研究期間：2006～2009
 課題番号：18530555
 研究課題名 (和文) 動作法訓練における障害を持つ子どもの社会相互作用と心身面の発達援助
 研究課題名 (英文) Developmental support to children with disabilities on social interaction and psycho-physical aspects through Dousa-hou training method.
 研究代表者 Surender Kumar

研究分野：心理学 (社会心理学、教育心理学、臨床心理学)
 科研費の分科・細目：社会的相互作用・対人関係、発達障害、心理療法、心理リハビリテーション
 キーワード：Dousa-hou, Social Interaction, Disability, Development

1. 研究計画の概要

4年間で、ニューデリーのマザー・テレサ・ジーワン・ジョティ障害孤児施設、太宰府地域、Kota Kinabalu Malaysia の Serimengasih 施設の重度の脳性麻痺、自閉症、情緒障害、ダウン症、知的障害を持つ子ども45名に動作法訓練による心身面の発達援助及び社会相互作用の援助。

2. 研究の進捗状況

現在、3年に渡って、動作法訓練で心身面の発達援助が継続的で順調に行われてきました。21年度で障害を持つ子どもに長期間動作法訓練で発達援助の効果を分析します。

3. 現在までの達成度

動作法訓練によって、障害を持つ子どもが自分の行動に気づき、体をよりよく自由に動かすことができ、自ら他の子どもに声をかけて集団行動が達成した。

4. 今後の研究の推進方策

4年間に渡って、動作法心理リハビリテーション法の動作法訓練によって、障害を持つ子どもにどの用の心身面の発達援助、社会相互作用の改善ができたかを分析します。今回出来なかった援助や今後さらに必要とする援助のため計画を立て、積極的に取り組みます。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計3件)

1. A Survey on Mental Health Maintenance

among university Students.

2. A Study on Proactive Coping among University Students.

3. 医療機関における障害者のためウェブアクセスシビリティの評価。

[学会発表] (計2件)

Dousa-hou: A Japanese psycho-rehabilitation method for body-mind relaxation.

A Japanese Psycho Rehabilitation Technique (Dousa-hou) for the Persons with Mental Challenges.

[図書] (計0件)

[産業財産権]

○出願状況 (計 0 件)

○取得状況 (計 0 件)

[その他]